



ひかりの子幼稚園
園長 若槻 三記子

二学期が始まり、門前に立つと、久しぶりの登園に緊張しながらも、一步を踏み出す子どもたちの頼もしい姿が見られます。「門から一人でお部屋に行く！って先生と約束したもん。」と言って先生に書いたお手紙を握りしめ、涙しながらも決意を持ってクラスへ行く子。ロボットに変身したらお友達と上手く話せるかなと、段ボールロボット持参で登園する子。自分なりに困難を乗り越えようとする子どもたちの成長を感じます。

運動会への取り組みの中でも、子どもたちの素晴らしい成長をみることができます。今回は、運動会のクライマックスであるこひつじ組さん(年長)のクラス対抗リレーについてお話ししたいと思います。

クラスを A と B の 2 チームに分け、クラス対抗リレーを行います。チーム分けや走順は、子どもたちが話し合って決めます。これまでは、1人1周のコース(小さめの1周コース)でしたが、差が開きすぎ、挽回が難しいのではという声があがりました。子どもたちの話し合いでの工夫や練習が結果に反映できるように、今年は、グラウンドを半周ずつ走ることにしました。。半周とはいえ約 50m の距離です。どこに並び、誰にバトンをもらい、渡すのか…。練習から子どもたちはドキドキです。

リレーの話し合いを通して、子どもたちの多様な姿が見えてきました。「A君はこれでいい？」と一人ひとりの意見を確認しながら進める子。ネガティブ発言にも、前向きな言葉で場を和ませる子、ユニークなアイデアを出す子、リレーの結果を分析し、次の対策を練る子等。また、これまで発言の少なかった子が、リレーをきっかけに積極的に意見を言う姿も見られます。

始めは、自己申告で「俺、速いねん。1番走りたい。」「アンカーする。」「Mちゃんと一緒にチームがいい。」と自分の意見を通すことに必死な様子がありました。しかし、リレーを行い、話し合うごとに、「AチームとBチーム、同じくらいの力にしたい。本当は誰が足が速いのかな？どうやったらわかる？」「走るのが苦手な子が楽しく走れるようになるにはどうする？」「どんな練習をしたら足が速くなるかな？」といろいろな考えがでてきました。秘密の特訓をしたり、何度も走順を考えたりすることによって、葛藤しながらも、自分の感情を調整し、他者の視点に立って物事を考えるようになってきました。力を合わせていく喜びを感じ、クラスそれぞれの目標に向かって頑張っているこひつじ組さんです。

運動会当日、どのような結果になるでしょうか。もちろん勝利も嬉しいことですが、やり遂げた子どもたちにとっては、思い通りの結果でなくても、そこに至るまでの過程こそが誇らしい経験となることと思います。これらの経験がきっと、これからの人生を「生き抜く力」になっていくことでしょう。子どもたちが「楽しかった♡」と思える運動会となることを願っています。



★追伸

- ・こりす組さんは、初めての運動会。上の学年のお友達が取り組む姿に、目を輝かせて声援を送っています。
- ・こうさぎ組さんは、「ほんまは、走るの速いねんで！」と『よ〜い ドン！』に意欲を燃やしています。
- ・こぼと組さんは、おもちゃに変身して表現します。倉治グラウンドの練習では、「暑くて、これじゃ人間にもどっちゃう！」と話している声が…おもちゃの世界観にすっかり入っている子どもたちでした(*^^*)